

福祉の視点から地域を伝える社協の広報誌

# つるの福祉

TSURUNOFUKUSHI

5月号 MAY.2024 No.171



都留市社会  
福祉協議会  
職員募集

## 特集

ボーダーレスなまちづくりを目指す

## 都留市ボランティア連絡会

### PICK UP

- 令和6年度当初予算
- 社会福祉協議会会費のお願い
- 第42回都留市社会福祉大会
- 令和6年能登半島地震 災害ボランティアセンター職員派遣 ~都留市社会福祉協議会職員が現地で活動~
- 老人クラブふるさと祭りおさらい会



# ボランティア同士の 交流の場を作る

## 都留市ボランティア連絡会 交流会

### 交流会開催の きっかけ

2月18日(日)、3月14日(木)に都留市ボランティア連絡会交流会を開催しました。

どのような想いを込めて交流会を開催したのか、都留市ボランティア連絡会会長の小松かおりさんにお話を伺いました。

#### 【小松さん】

令和5年8月、前会長から役割を引き継ぎ、都留市ボランティア連絡会の会長に就任しました。伝統を守りつつ、新しい連絡会の形を作り出したいと思っています。

会長としての役割を受け入れたきっかけは、令和5年2月に甲府市で開催された多様性を尊重するイベントに参加したことでした。そこでは、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが自由に交流できる空間がありました。

その場の空気感に触れ、都留市でも同様の取り組みを行いたいと考えました。タイミングよく会長就任のお話を受けたことから、ボーダーレスなまちづくりを目標に掲げ現在、新たな一歩を踏み出しています。

その過程の中で、ボランティア連絡会を見直し、新しい交流の場を作る必要があると感じました。新たな視点で交流会を開催し、ボランティアの基本に立ち返ることを目指しました。武蔵野大学の渡辺先生の協力を得て、「ボランティアのつながり」についての講演を行い、ボランティア同士の話し合いの機会を設けました。これにより、ボランティア活動を再考し、その意義を深く理解し、新たな気持ちで活動を再開することができました。



## 交流会の 雰囲気

コーヒーボランティアさんが和やかな雰囲気を作り出してくれました。参加者全員が自分の考えを発信することができる場となりました。

交流会では聞くだけではなく、自分たちで情報を発信する重要性を感じました。参加者は活動について熱心に意見を交換し、ボランティア活動について振り返りました。

短い時間でしたが、ボランティア活動について見直すことができ、励みになりました。

また、ボランティア同士でつながりができ、他の人の想いを知ることができました。出合いの場を提供できたことが良かったと感じます。

子どもを持つ母親の話を会場の皆が聞き、温かい空気が広がりました。交流会では、温かい気持ち共有されました。

## ボランティア 連絡会のこれから

個々のボランティア団体が連携して、互いに思いやりを持つコミュニケーションを作り上げていきたいです。

連絡会を通じて、みんなで喜びを共有し、さらにつながりを深めていくことを目指していきます。都留市全体がより温かく居心地の良い場所になっていくと考えています。

将来的には、ボーダーレスなまちづくりを目指して、一步一步進んでいきます。

私事になりますが、こぶたの会でのボランティア活動が最も楽しく、自分らしくいられる場所です。

役職や仕事に追われることなく、自分らしくいられる場所であることが重要です。

新しい居場所を求めている人にとって、ボランティア活動は自分に合った場所を見つける手助けになると思います。



都留市ボランティア連絡会会長  
読み聞かせボランティアこぶたの会代表

**小松かおりさん**

# 令和6年度事業計画

## 「みんなが主役 みんなで福祉の まちづくり」

都留市社協は地域のみなさんと共に誰もが安心して暮らせるまちをつくっていきます。  
わたしたちは3つの基本目標を掲げています。

- ✓ 福祉のこころを高め、みんなが地域福祉の担い手になろう
- ✓ 誰もが自分らしく暮らせるまちをつくろう
- ✓ 地域にある組織・団体が協力できる体制をつくろう

### 地域共生社会の実現に向けた都留市社協の主な取り組み

#### 都留市ボランティアセンターの運営

住民のボランティア活動への関心を高めるとともに活動参加へのきっかけづくりを進め、住民参加型の福祉社会を実現することを目的とし、住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティア養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動促進全般の業務を行います。



#### 福祉教育推進事業

市内小中高等学校や都留文科大等と連携し、都留市独自の福祉教育プログラムの開発に取り組みます。



#### 災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業

大規模な自然災害が発生した場合に備え、都留市災害救援ボランティア連絡会の開催、高校生災害ボランティアスクール、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を行います。



#### 法人後見事業

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本協議会が成年後見人、保佐人または補助人となることにより、その方の財産管理、身上監護を行い、権利を擁護していきます。



#### 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、身近な地域での支え合いの仕組みを作り、生活ニーズや地域課題を把握し、解決策を検討し、住民主体の支え合い活動を推進していきます。



#### 都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業

日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合う「ささえあいホットサービス都留」を展開するとともに、住民による生活支援の担い手不足を解消するための調査研究や、住民主体の持続可能な生活支援の在り方を検討します。



#### 地域福祉研究事業

地域社会における今日の課題に対する調査研究や先駆的・試行的取組等を通じて、新たなサービスを開発し、地域福祉の向上を図ることを目的として、モデル事業として、令和6年10月まで、買い物困難者の移動手段に焦点を当てた実証実験「生きがい買い物ツアーモデル事業」を行います。



#### 介護サービス事業

居宅介護支援、通所介護、訪問入浴介護、訪問介護を行い、介護サービスの利用にかかる相談、ケアプランの作成、自宅で受けられる家事援助、入浴等のサービス、施設で日帰りで行うサービス等を行います。



その他の事業は、社協ホームページをご覧ください。

# 令和6年度当初予算

収 入	(単位：円)
会費収入	5,409,000
寄付金収入	967,000
経常経費補助金収入	51,284,000
受託金収入	23,785,000
貸付事業収入	200,000
事業収入	586,000
負担金収入	250,000
介護保険事業収入	128,404,000
障害福祉サービスなど事業収入	15,080,000
受取利息配当金収入	27,000
積立資産取崩収入	2,021,000
その他の収入	571,000
前期残高	100,000
合 計	228,684,000

支 出	(単位：円)
人件費支出	165,461,000
事業費支出	37,869,000
事務費支出	13,549,000
貸付事業支出	197,000
共同募金配分金事業費	2,567,000
助成金支出	6,000,000
負担金支出	209,000
固定資産取得支出	2,000,000
積立資産支出	482,000
予備費	350,000
合 計	228,684,000

## 当初予算の注目点

令和6年度予算について  
詳しくはこちらをご覧ください→



### 【事業費支出】



福祉バザー



福祉教育推進事業

### 【助成金支出】



ボランティア団体等へ  
助成

### 【共同募金配分金事業費】



高校生の災害ボランティア  
スクール等

## 都留市社会福祉協議会 会費のお願い

誰もが住みよい福祉のまちづくりのために、社協会費納入のご協力をお願いいたします。

社協会費は、事業計画に掲げる住民主体の福祉活動を推進するため、また、各種事業が住民の参加、助け合いによって進められるために欠くことのできないものです。この会費には次のようなものがあります。

- (1) **一般会費** (1世帯年額 700円) 各地区自治会を通して市民の皆様からいただく会費
- (2) **特別会費** (1口年額 3,000円) 社会福祉関係団体、地域民生委員協議会、民間福祉施設等
- (3) **賛助会費** (1口年額 3,000円) 学識経験者、篤志家、会社及び団体

6月に各自治会長を通して、各世帯から一般会費の納入、8月から特別会費及び賛助会費の納入のお願いをいたします。福祉の充実に向け、皆様のご支援をお願いいたします。

# 都留市社会福祉協議会 職員募集



## □令和7年4月採用の事務局職員を募集します。

採用日 : 令和7年4月1日  
 採用予定人数 : 1名  
 受験資格 : 大学卒業(卒業見込み)以上で、福祉に興味関心がある方  
 応募期間 : 令和6年5月1日～5月31日  
 申し込み方法 : 応募期間中に都留市社会福祉協議会へ直接持参または郵送  
 提出書類 : 採用試験申込書、履歴書、卒業証明書もしくは卒業見込み証  
 試験日 : 第一次試験 令和6年6月15日 □事務適性検査、一般性格診断検査、職場適応性検査および作文  
 第二次試験 令和6年下旬頃 □面接を予定しています。

## □登録ヘルパーを募集します。

採用予定人数 : 若干名  
 必須資格 : 介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)、実務者研修(旧ヘルパー1級)、介護福祉士のいずれかの資格を有する方  
 申込方法 : 随時募集しておりますので、社会福祉協議会(0554-46-5115)へご連絡ください。  
 試験内容 : 面接を予定しています。

## 1日1件1時間の短時間勤務大歓迎!!

2月21日、都の杜うぐいすホールにて、第42回都留市社会福祉大会が開催されました。この大会は社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表すことを目的に開催しており、今年度は、諏訪中央病院 副院長・医療安全管理部長の高木宏明氏をお招きし、「このまちで最期までわたしらしく生きるために」と題した講演を行いました。



# 第42回 都留市社会福祉大会

### 全国社会福祉協議会会長表彰

○社会福祉施設功労(個人)  
 佐藤珠美

### 山梨県知事表彰

○民生委員・児童委員  
 秋山つや子、酒井直行、平井三郎

### 社会奉仕活動(個人)

小倉初江、山口陽子、山本孝子

### 社会奉仕活動(団体)

山梨県骨髄バンクを推進する会  
 ○老人クラブ活動(個人)  
 水越洋

### 山梨県社会福祉協議会会長表彰

○ボランティア活動(個人)  
 志村徳光

### 山梨県老人クラブ連合会会長表彰

○老人クラブ活動(個人)  
 小俣文子

### 都留市市長表彰

○民間社会福祉事業施設役職員  
 小俣僚、高部圭子、田邊大造



### 老人クラブ活動(個人)

佐藤勝子、杉本和子、村上榮一

### ボランティア活動(個人)

稀代清美、高部照子

### ボランティア活動(団体)

郡内明るい社会づくり運動  
 推進協議会都留文化部、都留音頭保存会連合

### 都留市社会福祉協議会会長表彰

○民間社会福祉事業施設役職員  
 赤澤春雄、三枝美幸

### 老人クラブ活動(個人)

芦澤映子、小林保品  
 ○民生委員・児童委員功労  
 小林美路江

### ボランティア活動(個人)

小俣昭子、木村あや子、水庭初枝、山口光代

### ボランティア活動(団体)

歌声のつどい、チームLEALOHYAフラ&サーフ、都留市合唱連盟、なでしこの会、フリースクールオンラインワン、朗読劇の会「心音」

### 都留市社会福祉協議会会長感謝状

○金品寄付(個人)  
 小俣幸夫、澁澤栄一

### 福祉軽車両寄付(団体)

都留ライオンズクラブ

### 都留市老人クラブ連合会会長表彰

○老人クラブ活動(個人)  
 志保澤保子、瀧本豊子、中村たか子、平井やす子、矢竹令男

(敬称略)

私たちにできること



## 赤い羽根共同募金運動結果報告

令和5年度 都留市の募金実績は

募金金額合計 | 4,214,372 円

### じぶんの町を良くするしくみ

地域とそこに住む人々のために役立ててほしいという意志が込められたこの募金は一人暮らしの高齢者や障がいのある方々を支える活動や、子どもの健やかな育ちのための活動、子育て家庭の支援、安全で安心なまちづくりの活動など、幅広く地域の福祉のために活かされています。

#### 募金内訳

家庭募金	1,384,935 円	街頭募金	64,184 円	大口・事業所募金	1,162,756 円
職場募金	224,727 円	特殊募金	18,062 円	自動販売機募金	17,708 円
地域募金	842,000 円	歳末たすけあい募金	500,000 円		

# 令和6年能登半島地震 災害ボランティアセンター 職員派遣



①全体オリエンテーションの様子 ②七尾市災害ボランティアセンターを支援しました ③ボランティアの受付の様子  
④地震により瓦が落ちてしまった家屋 ⑤個別ニーズのオリエンテーションの様子

## 都留市社協の職員が 現地で活動

令和6年1月1日(月)に発生した能登半島地震による被害が拡大したことを受け、3月27日(水)～4月1日(月)の6日間、石川県七尾市災害ボランティアセンター運営支援に都留市社協の職員を派遣いたしました。

今回の地震の影響で、1万戸を超える七尾市内の住宅に被害が発生し、全壊や半壊により現在に至るまで避難所等で生活をされている方が多数おりました。

このような現状の中、早期の復興を目指すため、石川県では災害ボランティアセンターを設置。派遣された職員は、運営スタッフと協力し、ニーズとボランティアのマッチングや資材管理等の業務に携わりました。

ニーズとして多く上がっていたのは、「災害廃棄物の搬出」でした。七尾市では、瓦屋根の家屋がほとんどで、地震により瓦が屋根から落ちてしまう被害が多く発生しました。

県内外から1日あたり100人以上のボランティアの方が支援に入って下さる為、ニーズの規模に合わせた人数を調整し、スコップ等の道具を用いて、瓦やタンス・家電等を軽トラックに乗せ、災害廃棄物の集積所まで運んでいただきました。

ボランティアの方の中には、「以前、自分の地域が災害に遭い、その時にボランティアの皆さんに助けてもらった。だから自分も恩返しをしたい」と思いついて参加しました。という方もおり、改めてボランティア活動の重要性とつながりの大切さを学ぶことができました。都留市社協は今後も要請に応じて全国の被災地に職員を派遣し、現地の復興支援の協力をしていくと共に、都留市で災害が発生した時に活かせるよう経験と学びを深めていきたいと考えています。

# 善意銀行への寄付

## ● ペットボトルキャップ

古屋志げ美、寿町老人クラブいきいき寿会、宮澤保久、佐藤育子、内川友子、健康科学大学看護学部、渡辺幸江、公立大学法人都留文科大学、山谷花子、都留市グラウンドゴルフ協会、渡邊春雄、坂田ひろみ、都留市野球連盟、川棚自治会、REREX(株)、ガールスカウト山梨県第10団、ジャノメダイカスト(株)、(有)モールドモデル、都留市愛育会、(有)宝永金型製作所、長田真奈佳、たがい立て合い助け合いの会28kg、都留文科大学付属小学校53・95kg

## ● プルタブ

古屋志げ美、宮澤保久、渡邊春雄、坂田ひろみ、田原老人クラブ伸寿会、藤本よし子、ジャノメダイカスト(株)、都留市愛育会、たがい立て合い助け合いの会4kg、都留文科大学付属小学校33kg

## ● 古切手

寿町老人クラブいきいき寿会、REREX(株)ジャノメダイカスト(株)、(有)モールドモデル、都留市愛育会、(有)宝永金型製作所

## ● タオル

藤本よし子76本

## ● お米

禾生第二小学校73kg

## 【寄付金】

● 都留市はつらつ鶴寿大学 / 5,236円



※令和6年1月～3月の寄付 社会福祉のために（順不同・敬称略）

※一度に大量のペットボトルキャップやプルタブの寄付をご希望の方は事前にご連絡下さい。  
 ※ペットボトルキャップ、プルタブは事前に洗ってお持ちください。  
 ※ペットボトルキャップ、プルタブ以外の寄付物品については、受け渡し先の確認があるため、事前にお問い合わせください。

## 総合相談事業

ひとりで悩まず、まずは相談してみませんか!?

### 司法書士による相談会（要予約）

日常生活の中で起きる法律に関わる問題（相続・遺言、成年後見制度、不動産登記、少額訴訟手続き、借金返済相談など）について、司法書士が無料で相談に応じます。事前予約制となっておりますので、相談を希望される方は下記連絡先までお問い合わせください。

相談時間：午後1時～4時 ※相談はおひとり45分まで

相談員：山梨県司法書士会、司法書士総合相談センター所属司法書士

相談場所：いきいきプラザ都留2階 相談室

### 司法書士による相談会（要予約）

日程	
5月10日(金)	5月17日(金)
6月7日(金)	6月21日(金)
7月5日(金)	7月19日(金)

### 福祉の相談会（予約不要）

どこに相談したらよいかわからない生活上の困りごとや悩みごとなど、福祉に関する困りごとについて一緒に考えます。相談は無料です。ご本人でなくても構いません。

相談時間：午後1時30分～3時30分

相談員：社会福祉士、精神保健福祉士、相談支援専門員など

相談場所：いきいきプラザ都留2階 相談室

### 福祉の相談会（予約不要）

日程	相談場所
5月1日(水)	いきいきプラザ都留2階
6月5日(水)	
7月3日(水)	

まずはご相談ください！お話しお聞きします。◀

### 福祉の相談窓口

生活福祉資金等の貸付、地域社協の相談、ボランティア相談など福祉に関する困りごとについて、社協職員が対応します。社協窓口・電話で相談をお受けします。相談は無料です。ご本人でなくても構いません。

相談日時：毎週月曜日から金曜日（祝日は除く）  
午前8時30分～午後5時15分

相談場所：いきいきプラザ都留2階

【問合せ先】 都留市社会福祉協議会 ☎ 46-5115

## ボランティア活動保険

ボランティア活動保険は、ボランティア個人またはボランティアグループなどが加入申込人（加入対象者）となり、ボランティア個人を被保険者（保険の補償を受けられる方）として、全国社会福祉協議会が一括して損害保険会社と契約する団体契約です（一部の都府県・指定都市を除きます）。補償期間（保険期間）は毎年4月1日～翌年3月31日までです。中途加入の場合も3月31日までとなります。

加入は、都留市社会福祉協議会の窓口で直接お申込みください。

基本プラン

350円

天災・地震  
補償プラン

500円

【問合せ・申込先】 都留市社会福祉協議会 ☎46-5115

## ボランティア活動助成金

誰もが住みよい福祉のまちづくりを進めるため、地域の中で自主的に活動し、都留市ボランティアセンターに登録しているボランティア団体・グループに対して、助成金を交付します。

### 【助成の対象】

都留市に活動拠点を置き過去1年以上に渡り、以下の活動を行うボランティア団体・グループ

- ①在宅福祉の普及、向上を図る活動
- ②健康、生きがいづくりを推進する活動
- ③地域の保全を図る活動
- ④子どもの健全育成を図る活動
- ⑤その他社会福祉の向上に資する活動

### 【助成金の額】

1団体当たり5万円を上限としますが、助成金総額は本協議会の予算の範囲内のため、申請件数によっては5万円を下回る場合もあります。

### 【助成対処となる経費】

助成活動に直接必要となる経費で、当該年度末までに経費資質が完了するものに限る。

（例）講師謝礼、会議時における茶菓子代、飲料代、印刷費、郵送料、消耗品費、車両燃料費など  
※団体構成員の報酬、家賃、水道光熱費、宴会費等は対象外となります。

### 【助成申請期間】

5月1日～5月31日まで

### 【問合せ・申込先】

都留市社会福祉協議会 ☎46-5115

## 令和6年度 手話奉仕員養成講習会(入門・基礎編)

聴覚障がい者を正しく理解し、基礎的な手話を習得することを目的に標記講習会を開催致します。



【主催】 都留市社会福祉協議会

【日時】 ○令和6年5月20日～令和6年9月24日 入門編(19回)  
○令和6年9月30日～令和7年3月3日 基礎編(21回)  
毎週月曜日 午後7時から9時  
※月曜日が祝日の場合は翌火曜日実施

【会場】 いきいきプラザ都留 3階 研修室

【対象者】 一般住民ならびに学生25名  
初心者、本講習会受講経験者(2年目までの方とする)

【参加費】 無料

【申込み】 令和6年5月10日(金)迄に都留市社会福祉協議会に申し込んでください。

☎46-5115 (受付時間8:30～17:15)

## 介護事業所からのお知らせ

2月3日(土)、今年も、桂林寺さんから、鬼が来所してくださり、豆まき、長生きと健康を祈願し、厄除け開運の踊りも行って頂きました。もう人生のベテランである利用者さんは、鬼を見て泣いたりはされませんが、鬼の迫力に驚かれていました。皆さん、今年も、元気に過ごして頂きます。ありがとうございました。



# ふれあいゲートボール大会開催



第44回ふれあいゲートボール大会を開催します。

この大会は9月21日に予定されているいきいき山梨ねりんピック2024・山梨県シニアゲートボール大会の予選会として開催します。メンバーが市内の方なら、合同チームでも参加できます。

本大会の上位2チームが県大会に出場できますので、ふるってご参加ください。

- 【主催】 都留市老人クラブ連合会
- 【共催】 都留市ゲートボール協会
- 【日時】 6月4日(火) ※雨天の場合は5日(水)
- 【場所】 小形山・大輪スポーツ広場
- 【参加資格】 60歳以上
- 【参加費】 1チーム 2,000円
- 【申込締切】 5月17日(金)
- 【問合せ先】 都留市老人クラブ連合会事務局 ☎46-5115



# 山梨県シルバー作品展



県内各地で開催された高齢者作品展(審査会)において、代表となった優秀作品の展覧会が開催されます。

都留市からは、4点の作品が展示されます。

優秀作品として都留市から出品される方は次のとおりです。

- 洋画の部 秋山 秀子
- 工芸の部 志村 芳子 杉本淳子
- 写真の部 藤本 紘一 (敬称略)

- 【期間】 6月14日(金) 午後2時～午後5時
- 6月15日(土) 午前10時～午後5時
- 6月16日(日) 午前10時～午後5時

- 【会場】 山梨県立図書館1階「イベントスペース」



# 老人のしあわせの里づくり事業 各種教室会員募集のお知らせ



都留市社会福祉協議会が推進している「老人のしあわせの里づくり事業」では、都留市老人クラブ連合会に協力をいただき、各種教室を開催しています。

高齢者による自主的な教室で、運営も高齢者で行っています。

現在実施している教室は、民謡・詩吟・舞踊・囲碁・将棋・大正琴・歌謡(カラオケ)・能楽の八つの教室で、「都留市まちづくり交流センター1階 交流室和室」を会場に、月1～2回、皆さんで練習に励んでいます。

また、1年間の練習の成果の発表会として、毎年3月にうぐいすホール(小ホール)で「ふるさと祭りおさらい会」を開催しています。

みなさんも、生きがいづくり・社会参加の機会として、各教室で身近な仲間と一緒に楽しい時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

- 【問合せ先】 都留市老人クラブ連合会(つる笑輪会)事務局(☎46-5115 森嶋)までお願いします。各教室の詳しい情報をお伝えします。

## 第40回

# ふるさと祭りおさらい会

3月15日(金)午前10時から、都の杜うぐいすホール(小ホール)に於いて第40回ふるさと祭りおさらい会を開催したところ、約120名の皆様にご参加いただきました。

このおさらい会は、「老人のしあわせの里づくり事業」として開催されている各教室の発表と、単位老人クラブ活動として各クラブより参加する方の発表を併せて、「ふるさと祭りおさらい会」と名付けて実施しています。

民謡・詩吟・舞踊・歌謡と全40の演目が次々と発表され、舞台は明るく華やかで、皆さんはつらつと日頃の練習の成果を発表されていました。また、会場からは仲間に声援を送る場面も多々あり、感動の輪に包まれていました。



## 絵手紙特集

### 「四季彩の絵手紙教室」

「それぞれの美しい花が咲き、日本の四季って素晴らしいなあ……」から始まった四季彩の絵手紙教室が発足してから20数年の年月が流れ、在籍者20名弱、和やかな楽しい教室です。昨年は「筆の里ありがとう大賞」「西嶋和紙の里公募」皆素晴らしい成果を遂げました。これが本当の生涯学級ではないでしょうか? 「へたがいい……へたでいい……」のです。誰でも出来ます。興味のある方は始めてみませんか。代表 志村ひさ子(電話090-3104-1462)



「つるビー」平林 妙子 作



「輝しい未来」志村ひさ子 作



「ごちそうさま」高部あや子 作

都留市社協だより171号 令和6年5月1日発行

■発行 社会福祉法人 都留市社会福祉協議会  
■住所 都留市下谷2516番地1(いきいきプラザ都留内)  
■電話 0554-46-5115 ■FAX 0554-46-5103  
■MAIL tsuru-shakyo@sage.ocn.ne.jp ■http://www.tsuru-shakyo.jp



HOMEPAGE



Instagram : @tsurushakyo



YouTube

